

## 令和5年度国債発行予定額

<発行根拠法別発行額>

(単位：億円)

区 分	令和5年度当初	令和5年度補正後	
	(a)	(b)	(b)-(a)
新規国債	356,230	444,980	88,750
建設国債	65,580	90,680	25,100
特例国債	290,650	354,300	63,650
GX経済移行債	5,061	15,478	10,416
復興債	998	—	▲ 998
財投債	120,000	50,000	▲ 70,000
借換債	1,575,513	1,550,902	▲ 24,611
国債発行総額	2,057,803	2,061,360	3,557

<消化方式別発行額>

(単位：億円)

区 分	令和5年度当初	令和5年度補正後	
	(a)	(b)	(b)-(a)
カレンダーベース 市中発行額	1,903,000	1,903,000	—
第Ⅱ非価格 競争入札等	69,630	64,027	▲ 5,603
年度間調整分	30,173	39,333	9,160
市中発行分 計	2,002,803	2,006,360	3,557
個人向け販売分	35,000	35,000	—
公的部門(日銀乗換)	20,000	20,000	—
合 計	2,057,803	2,061,360	3,557

※1 令和5年度の市中からの買入消却については、市場の状況や市場参加者との意見交換も踏まえ、必要に応じて実施する。

※2 令和5年度における前倒債の発行限度額は35兆円。

(注1) 各計数ごとに四捨五入したため、計において符合しない場合がある。

(注2) カレンダーベース市中発行額は、あらかじめ額を定めた入札により定期的に発行する国債の4月から翌年3月までの発行予定額(額面)の総額をいう。

(注3) 第Ⅱ非価格競争入札とは、価格競争入札における加重平均価格等を発行価格とする、価格競争入札等の結果公表後に実施される国債市場特別参加者向けの入札をいう(価格競争入札等における各国債市場特別参加者の落札額の10%を上限)。令和5年度の第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額については、当該入札を実施する国債(40年債、30年債、20年債、10年債、5年債及び2年債)のカレンダーベース市中発行額の5.5%を計上している。  
第Ⅱ非価格競争入札等として、第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額のほか、カレンダーベース市中発行額と実際の発行収入金との差額の見込みを計上している。

(注4) 年度間調整分とは、前倒債の発行や出納整理期間発行を通じた、前年度及び後年度との調整分をいう。

(注5) 令和5年度のGX経済移行債及びその借換債(\*1)について、上記では、これまでの国債と同様に他の国債と同一の金融商品として統合して発行(統合発行)する前提で整理されているが、基本的には「クライメート・トランジション利付国庫債券」(\*2)として発行することを検討している。その令和6年3月末までの発行額については、今後、予算の執行状況・市場環境を勘案しながら、出納整理期間における発行等も考慮に入れ、検討・決定していく。

(\*1) 令和5年度分のGX経済移行債1.5兆円、令和4年度第2次補正予算での先行措置分に係る借換債1.1兆円

(\*2) 資金使途等をまとめたフレームワークを作成し、評価機関からセカンド・パーティ・オピニオン(SPO)を取得したもの。